

課題番号	研究課題名	研究代表者	評価結果
15100003	画像解釈におけるアプリアリ情報の有効利用に関する研究	小杉 幸夫（東京工業大学・大学院総合理工学研究科・教授）	A
<p>狭い領域や応用場面だけに通用する手法や理論になりがちな、画像処理・解析の研究において、先験情報や知識を利用して画像処理・解析の能力を向上させる一般性の高い方法を開発した。汎用性の高いフレームを組み立て、その下でいくつもの多様な応用分野・応用場面（防災、医用、皮膚画像など）を選定して、そのフレームが適用可能であり、実用レベルの成果が得られることを実証的に明らかにした。先験情報を、「事前に撮影した画像」「異なる観測モードで得た画像」「自由度を絞り込むための先験モデル・知識」の利用に整理して、処理・解析手法を提示し、実証を行っている。</p> <p>本研究で取り上げられなかった他の分野に適用する場合も、必要な修正、期待される性能などの目処が比較的つけやすく、応用分野を中心に波及性は高いと判断される。成果の社会への発信も十分にされている。成果の学術的価値は高いと判断できる。</p>			